

てくてく通信No.99

発行日 2022年12月3日
発行 福岡県ウォーキング協議会
<http://f-walk.pinoko.jp/>
<https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/walk/>

連絡先

新日本スポーツ連盟福岡県連盟事務所
〒811-2121 糟屋郡宇美町平和 1-3-11
TEL・FAX 092-934-0853
e-mail : njsf_fukuokaken40@lib.bbq.jp

新日本スポーツ連盟福岡県連盟北九州事務所
〒805-0067 北九州市八幡東区祇園 4-5-16
TEL・FAX 093-662-9278
e-mail : krc-fn@jcom.home.ne.jp



博多港引き上げ記念碑前で

《11月例会報告》 博多戦績巡り

11月13日の日曜日9:30、JR吉塚駅に集まりまだ来ぬ人を待つ間、外はジャンジャンぶりの雨。約30分待ち人到着。

空は怪しいが雨は止み、傘は不要に。

まず、馬出小学校にある旧福岡市動物園の門へ向かう。現在の東公園辺りは、福岡市の動植物園がありましたが、戦争のために閉園。門のみ残っています。

次は称名寺の大仏、戦争中に鉄が不足。寺にあった大仏は戦争のために没収。今は台座のみ。その後、バスを併用し千代町へ移動。

千鳥橋病院近くにある「五人衆の墓」を見る。寛永年間に芝居小屋で迷惑行為を行った武士をいさめた人が川向うに逃げたというだけで「犯人を出せ！出さぬと村を焼き払うぞ」と脅し、村の若者5人が無実の罪で処刑されている。当時の身分差別の厳しさを知る。

一番印象に残ったのは「立石額縁店」、事前に訪問を約束していたこともあり、懇切丁寧な話が続く。裏は海であったこと、戦争前は博多中心街だったこと、戦争で火事になった範囲や、風呂屋の水で火を消したエピソードなど楽しく聞いた。「ウナギの寝床」と言われる昔の家の作りでは採光よりも喚起が必要で家の玄関から裏口まで50mある。喚起できればカビは生えないと教えて頂いた。最後に床下にある防空壕を見せていただく。参加者の質問にすべて答えていただき大満足。

その後は正定寺へ。住職の案内で床下の焼夷弾や柱に残っている焼け焦げた一部を見たり触ったりする。焼夷弾は攻撃対象を着火させ焼き払うもので、この時一人のお坊さんがなくなっています。

昼食後、博多港引き上げ記念碑見学、博多港は戦後引き上げ港として139万の人が日本へ、中国・朝鮮の人が50万人故国へ帰っている。近くにある聖福寺には戦災孤児の養育をした聖福寺寮があり、戦災孤児の養育を行ったとのこと。

ここで西さんはバスで博多駅に向かい別コースとなり、解散時に合流する。

博多小学校にある戦績展示室は閉館されていたので、同校に展示されている別の遺跡を見る。小



床下の焼夷弾

学校を建築時に出た遺跡で、鎌倉時代の石塁、室町から江戸にかけての屋敷跡・緯度・溝等が発掘され、一部が展示されていた。

西門蒲鉾本店に行くとシャッターが下りておりどうしようと思ったところに店主帰宅。買ったものは夕食に。

疎開道路を通り冷泉公園へ。冷泉公園辺りは被害が多かったことで戦災記念碑が立っている。

川端ぜんざいを女性軍は食し、櫛田神社から博多駅へ。

人権を大切にしないことが戦争へとつながっていると感じた1日であり、体験談を聞き、実物を見ることで感慨深いウォークとなった。(記・築城さとこ)

《12月例会案内》 糸島スイーツ巡り

日 時：12月11日(日)

集 合：JR前原駅北口9:30(博多駅8:30、8:44、天神8:36、8:50発)

コース：往路(昭和バス野北線) 駅北口9:42発～桜井10:14着

復路(昭和バス野北線) 伊牟田15:16発～駅北口15:48着

参加費：会員500円 未会員1,000円

昼 食：Hana Café(電話092-809-2633) 2,000円以内

「糸島」にある「桜井二見ヶ浦」は、波打ち際に建つ白い鳥居とその奥にある夫婦岩がシンボルで、恋愛成就のスポットとしても人気。①ビーチカフェサンセット ②UOVO(ウオボ) ③つまんでご卵ケーキ工房等のスイーツを楽しめます。お楽しみに。※忘年会はありません。

12月例会「糸島スイーツ巡り」申し込み【12月8日(木)締め切り】

氏 名		性別	男・女	年齢	
住 所	〒				
連絡先及び 緊急連絡先					
備 考					

《今後の例会案内》

1月例会 長崎街道を歩くパート9 佐賀宿～小田宿

*日 程 1月22日(日) JR佐賀駅南口10時 集合

*コース 佐賀宿～牛津宿(昼食)～小田宿～JR江北駅

行程15km 約5時間 (平坦な道)

長崎街道の宿場25のうち、その半数以上の13の宿場が存在する佐賀路。

佐賀宿は城下町佐賀を代表する歴史的建造物が立ち並び、今でも往時の面影を残しています。

一歩町に入るとタイムトリップしたかのようなレトロな街並み。

「旧古賀銀行」はレンガ・タイル張り、木造2階建ての洋館で、「九州五大銀行」のひとつに数えられ、当時の新しい都市機能を担う銀行として建築されました。

現在は「佐賀市歴史民俗館」の1つとして生まれ変わっています。